

令和元年度第6回10月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 令和元年10月9日(水)午後2時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	河又弘子
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二

局側出席者名	代表取締役社長	大塚幹夫
	編成部長	大谷佳久

4. 議 題

(1) 「ラジオ朗読 知将の条件」について

毎週日曜 8:30 ~ 8:40

9月8日~9月29日 放送 4回分

報道制作局編成部 大谷佳久

(2) その他

5. 議事内容

(1) 「ラジオ朗読 知将の条件」について

毎週日曜 8:30 ~ 8:40

9月8日~9月29日 放送 4回分

報道制作局編成部 大谷佳久

試聴番組：放送した番組を予め試聴。

議題説明：編成部長大谷が番組の企画・制作内容について説明した。

番組パーソナリティの嶋均三氏が2016年に発売した小説「知将の条件」を臼井佳子アナウンサーが朗読するラジオ朗読番組。オリジナルの戦国時代小説なので地域や時代、登場人物が架空の設定。日曜朝のゆったりした時間帯に放送しているなどと番組内容を説明して審議に入る。

各委員からは、

- 素敵な朗読だと感じたが、尺10分だと短く話の続きがわからないので、簡単に前回までのあらすじがあるとわかりやすくなる。もう少し効果音や話の抑揚があっても良い。
- 登場人物が多くて話が難しく、時間尺が短いので内容が伝わりづらい。文語体で言葉も独特で、文字言葉を推測することが必要で、話し言葉で聞くとわかりづらいのがもったいない。きれいに読んでいるので、登場人物の会話の違いが判りづらい。もっと音楽や効果音があっても良い。場面転換の音も内容に合っていないように感じる。10分単位で1話完結になるとわかりやすい。
- 歯切れが良くて聞きやすい。オリジナルの物語は話の筋がわかりづらくイメージが沸かない。固有名詞なのか地名なのかもわかりづらく残念。朗読ではなくラジオドラマという手法が良かったのではないか。
- 嶋さんは多彩な方だということが分かった。前回までの流れがわかるようにあらすじがあると良い。30分程度で1話完結にさせると良い。
- 朝の時間帯の朗読番組は良い。物語が難しく情景が浮かびづらく残念。朗読なら一般的でわかりやすい物語にすると良い。
- 淡々としすぎていると感じた。2人の掛け合いにするとか効果音をもっと使うなど工夫が必要。
- あらすじを入れたり、次はどうなるかと期待させて盛り上げる手法を工夫して欲しい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(令和元年10月20日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(令和元年10月20日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(令和元年10月20日～)

以上